

2026.1.5 発行
NO.417

SHINING

0942-27-2039
FAX 0942-27-2086
<https://h-polepole.com/>

法人理念「混ざり合い 共に生きる」のもと、「愉快な仲間」となって一緒に歩んでまいります！

2026年、新しい年の幕開けです。法人25周年をきっかけに、次世代が本格的に動き出し、「出会いの場ボレボレ」の改造に向けて「誰もが混ざり合い共に生きる」拠点を創りだそうとしています。自指す姿は、心の壁を取り払うように、1階の壁をとっぱらい、広くて温かい受け入れの空間を創りだします。そこは「軽食やカフェ」「買い物」もでき、同時に「出会いの場」「いつもの人たちが集う場」、そして「ちょっとした相談」もできます。メンバーをはじめ、多世代の活躍の場ともなります。

法人立ち上げ時の保護者の方々は、現在75歳から80歳、数えきれない研修やたこ焼き等の資金稼ぎ、苦楽を共にしたことでの「ボレボレ」誕生、その後も社会的活動を共にし、強いつながりとなりました。長い間、大きな事故もなく一緒に歩めたことに感謝の想いでいっぱいです。これからも25年は、私を含めて高齢の保護者世代も若い方々と混ざり合い「愉快な仲間」となって、いきいきと活躍していきたいと思います。本年もどうぞ、よろしくお願いします。（理事長 馬場 篤子）



12月7日（日）、9年前の熊本地震で支援した熊本県西原村にある「たんぽぽハウス」の20周年の催しへ。現地に行き、保護者さんたちとスタッフで「たこ焼き」と「焼きそば」を焼いて提供してきました。



グループホーム「ニュンバ」のお正月

365日、ゆるやかに活動しているグループホーム「ニュンバ」。土日のグループホームを利用している方を対象として、2026年1月3日（日）を1泊だけ開所しました。ご飯は、保護者さんに差し入れをいただいたり、切込みをお願いしたりと持ちつ持たれつの1日を過ごしています。初詣にも行くことができ、仲間との外出や楽しい食事ができました。介助が必要なメンバーの「帰省」は、こうやってご家族と相談しながら今後もできたらと思います。

（グループホーム管理者 野瀬 美紀）



毎年恒例の「暮れの市」開催！今年も地域づくりに取り組んでいきます♪

年末の12月28日、JAくるめ安武農産物直売所「そらまめ」にて、毎年恒例の「暮れの市」が開催されました。開会と同時にJA関係者や地元住民の方々が大勢来場され、開始直後からレジには長蛇の列ができるほど活気に包まれました。

「ほんによかね会」と「出会いの場ボレボレ」も、安武町のにぎわいづくりを目的に、高齢者から子どもまで楽しめる射的や、からあげ・ポテトなどの販売を行い、イベントと一緒に盛り上げました。前日の準備段階から地域のみなさんと力を合わせ、一丸となって取り組むことができました。

当時は久留米商業高校の学生17名がボランティアとして参加してくれました。今年もボレボレメンバーの保護者に、たこ焼きの焼き方などをレクチャーしていただきました。この若い力との交流は、将来の「ボレボレ祭り」や地域ボランティアの担い手へつながる、貴重な機会となっています。

地域おこしを担う中心的な方々の高齢化が進む中で、ボレボレが地域の中で果たす役割や存在意義は、年々大きくなっていると実感しています。障がいのある・ないにかかわらず、誰もが住みやすい地域づくりを目指し、今年も地域と協力しながら取り組んでまいります。（出会いの場ボレボレ管理員 浦川 直人）

